

5.環境

基本事業名	01 脱炭素社会の実現	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	環境政策課
施策名	19 持続可能な環境の保全	係名	ゼロカーボン推進係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)

市民、事業者、市が協働し、脱炭素につながる実効性のある取組を推進し、2050年カーボンニュートラルを見据えた脱炭素社会を実現します。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
市内の二酸化炭素排出量	千t- CO2	642 (R3年度)	584 (R5年度)				427 (R9年度)

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)

基本事業の成果 目標の達成状況	成果指標は、基準値と比較し減少していますが、令和7年度(令和5年度)の目標値(570千t-CO2)には達していないことから、更なる二酸化炭素排出量削減の効果的な取組が必要です。
成果のあった 主な事務事業	【温暖化対策事業】2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」について、市議会の議決を得て宣言しました。また、市民が市内事業者に発注する既存住宅断熱改修への補助事業を開始し、家庭部門の二酸化炭素排出量削減や環境における地域内経済循環につながりました。 【エコオフィスプラン21推進事業】「カーボン・マネジメントシステム」に再構築し、各部署が二酸化炭素排出量削減に向けたPDCAサイクルによる改善を進めることができました。
課題のあった 主な事務事業	【温暖化対策事業】二酸化炭素排出量削減につながる市内の実情に合わせた効果的な環境施策の検討が必要です。 【エコチャレンジ事業】対象年齢の拡大について環境審議会から求められています。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)

【温暖化対策事業】市域内の電力データの分析に基づく、太陽光発電量の向上や発電した電力の市内消費といった環境施策のスキームを構築します。また、ゼロカーボンシティの実現に向け、連携協定を締結した立川商工会議所や東京ガス株式会社と協議を重ね、脱炭素につながる効果的な取組を進めていきます。
【エコチャレンジ事業】優良事例チームの取組について、他の小学生やそのご家族へ横展開し広めていくことや、中学生・高校生向けのエコチャレンジメニューを検討します。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度実績			R7年度実績			R8年度計画			R9年度計画			R10年度計画			R11年度計画		
① 事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0			0			0			0			0			0		
		都支出金	千円	0			0			0			0			0					
		地方債	千円	0			0			0			0			0					
		その他	千円	808			5,643			2,111			0			0					
		一般財源	千円	1,009			3,464			9,412			0			0					
	事業費計(A)		千円	1,817			9,107			11,523			0			0					
	予算現額(B)		千円	1,860			10,196			—			—			—					
	執行率(A／B)		%	97.7%			89.3%			—			—			—					
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	1.80	1.00	0.00	2.20	1.00	0.00	2.20	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	16,200			21,120			21,120			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	4,200			5,100			5,100			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	20,400			26,220			26,220			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	22,217			35,327			37,743			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	温暖化対策事業	1	4	1	6	4	8,897	0	0	0	5,643	3,254	有効性
		ア 中小企業CO2排出量削減改修費補助件数				件	2	6					
		イ 既存住宅断熱改修費補助件数				件	-	30					
		ウ											
2	エコチャレンジ事業	1	4	1	6	5	166	0	0	0	0	166	公平性
		ア 参加チーム				組	101	110					
		イ 達成チーム				組	76	87					
		ウ 優良事例チーム				組	7	8					
3	エコオフィスプラン21推進事業	1	4	1	6	8	44	0	0	0	0	44	有効性
		ア 取組部署数				職場	107	109					
		イ											
		ウ											
4													
		ア											
		イ											
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	02 健全な生活環境の実現	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	環境政策課
施策名	19 持続可能な環境の保全	係名	環境指導係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)
公害の発生を未然に防止するとともに、喫煙やペットの飼い方、ポイ捨て等の日常生活におけるマナーについて、市民や事業者のモラルの向上を図り、市民生活の安全・安心を支える基礎となる健全な生活環境を実現します。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
公害の規則違反により勧告・停止命令に至った件数	件	0	0				0

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)	
基本事業の成果目標の達成状況	成果指標は、令和7年度実績で0件であり、目標値を達成しました。
成果のあった主な事務事業	【蜂の巣駆除】蜂の相談件数が例年より多い中、駆除方法の説明や現地確認、スズメバチの巣の駆除補助金交付等の業務を適宜行うことで、安全な生活環境の確保につながりました。 【喫煙対策事業】市制50周年記念憩いの場周辺の特定地区指定により路上喫煙率減少につながりました。 【公害対策事務】法令に基づく適切な指導助言や公害苦情への丁寧な対応により問題の解決が進んだほか、PFASを含む各種環境測定を実施し結果を公表することで、透明性の確保につながりました。
課題のあった主な事務事業	【喫煙対策事業】路上喫煙率は概ね低位で推移しているものの、特定地区内においてスポット的に路上喫煙者が発生していることから、更なる喫煙環境の整備が必要です。 【地域猫活動推進事業】団体数やボランティア数が減少しており、活動の継続が困難になりつつあります。 【公害対策事務】生活騒音や樹木越境等の相談が多く、行政に指導権限がないため対応に苦慮する場合があります。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)	
【犬の登録事務】災害時に犬を中心としたペットとの同行避難が想定される中で、飼い主や避難所の平時の備えが不十分であることから、関係課と連携しながら飼い主への普及啓発や避難所の体制整備を検討します。	
【喫煙対策事業】「民設公衆喫煙所への助成制度」の活用状況や事業者からの意見等を踏まえ、助成条件や助成金額の見直しを検討します。	
【地域猫活動推進事業】地域猫活動団体の増加や既存団体の活性化が困難な中で、徐々に個人向けの補助金へシフトしていくことや実費を支給する制度に見直すなど、抜本的に制度を改正する必要があります。	
【公害対策事務】公共用水域・地下水におけるPFASの規制について、国・東京都の動向を注視するとともに、当該規制の動向によっては測定計画等の再検討が必要となる場合があります。	

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度 実績			R7年度 実績			R8年度 計画			R9年度 計画			R10年度 計画			R11年度 計画		
① 事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0			0			0			0			0			0		
		都支出金	千円	9,278			11,933			23,651			0			0			0		
		地方債	千円	0			0			0			0			0			0		
		その他	千円	3,065			2,374			3,820			0			0			0		
		一般財源	千円	53,634			51,587			60,352			0			0			0		
	事業費計(A)		千円	65,977			65,894			87,823			0			0			0		
	予算現額(B)		千円	68,802			72,276			—			—			—			—		
	執行率(A／B)		%	95.9%			91.2%			—			—			—			—		
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	6.39	1.00	0.00	6.15	1.00	0.60	6.15	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	57,510			59,040			59,040			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	4,200			6,900			5,100			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	61,710			65,940			64,140			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	127,687			131,834			151,963			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	犬の登録事務	1	4	1	3	15	5,065	0	2,040	0	1,633	1,392	・目的妥当性 ・有効性 ・効率性 ・公平性
		ア	犬登録数				頭	7,950	8,368				
		イ	注射済票交付数				件	5,862	6,018				
		ウ	苦情相談件数(延べ)				件	43	30				
2	蜂の巣駆除	1	4	1	4	1	1,058	0	20	0	0	1,038	
		ア	相談受付件数				件	278	353				
		イ	蜂の巣確認件数				件	144	160				
		ウ	駆除作業補助金件数				件	59	96				
3	喫煙対策事業	1	4	1	4	2	39,317	0	716	0	0	38,601	目的妥当性 有効性
		ア	キャンペーン実施回数				回	19	19				
		イ	公衆喫煙所利用者数(一日当たり)				人	1,154	1,246				
		ウ	苦情相談件数(延べ)				件	41	74				
4	地域猫活動推進事業	1	4	1	4	3	846	0	421	0	0	425	有効性
		ア	不妊・去勢手術数				匹	26	45				
		イ	登録団体数				団体	24	20				
		ウ	苦情相談件数(延べ)				件	26	22				
5	専用水道事務等	1	4	1	4	4	3,225	0	0	0	0	3,225	
		ア	水道法に規定する事務委託数				件	345	345				
		イ	都条例に規定する事務委託数				件	1,035	1,035				
		ウ	都要綱に規定する事務委託数				件	11	11				
6	空き地の適正管理指導	1	4	1	4	-	0	0	0	0	0	0	
		ア	調査・指導件数				件	28	26				
		イ											
		ウ											
7	公害対策事務	1	4	1	6	1	16,354	0	8,736	0	741	6,877	有効性
		ア	河川等の分析調査日数				日	23	23				
		イ	道路沿道大気汚染等調査箇所数				箇所	9	9				
		ウ	公害苦情調査・指導件数				件	29	49				
8	放射線関連測定	1	4	1	6	6	29	0	0	0	0	29	
		ア	空間放射線量定点測定回数				回	4	4				
		イ											
		ウ											

基本事業名	03 環境施策の基盤づくり	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	環境政策課
施策名	19 持続可能な環境の保全	係名	環境推進係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)

生活の場、働く場としての立川を、より豊かにして未来の子どもたちへ引き継ぐため、市民、事業者、環境ボランティア、市の協働により環境施策の基盤を整えます。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
環境学習講座等の定員充足率(計画期間中平均値)	%	80.9	100.0				85.0

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)

基本事業の成果 目標の達成状況	成果指標は、基準値と比較して向上し、目標値を達成しました。
成果のあった 主な事務事業	【環境審議会運営】委員構成の見直しを含む環境基本条例の改正を行い、市内への来訪者(通勤・通学等)が委員に就任したことで、議論の活性化につながりました。 【環境啓発事業】NPO法人のノウハウを活用した多様な環境学習講座等を開催するとともに、森林環境譲与税を活用した森林の環境保全をテーマとした講座を青梅市と連携して実施し、市民・事業者の環境への意識醸成や行動変容、環境教育指導者の育成につながりました。
課題のあった 主な事務事業	【環境啓発事業】学校や保育園に環境関連団体のボランティア等を派遣し体験型の環境学習を行う環境学習支援について、高齢化等の影響により講師の担い手が減少しており、新たな担い手の確保や手法の検討が必要です。 【生物多様性推進事業】アライグマ・ハクビシンの防除について、捕獲頭数が2頭となっており、捕獲機設置場所や餌の工夫といった捕獲率向上の対策を講じる必要があります。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)

【環境啓発事業】令和8年度からNPO法人等による3年間の委託事業の中で、環境行動の担い手を育成することを進めているものの、環境学習支援を実践することができる人材の確保には一定の時間がかかることから、既存団体・個人への活動支援や事業者によるプログラムの拡充を進めていく必要があります。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度実績			R7年度実績			R8年度計画			R9年度計画			R10年度計画			R11年度計画		
① 事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0			0			0			0			0			0		
		都支出金	千円	0			0			0			0			0					
		地方債	千円	0			0			0			0			0					
		その他	千円	4,454			2,801			2,782			0			0					
		一般財源	千円	10,141			5,844			5,593			0			0					
	事業費計(A)		千円	14,595			8,645			8,375			0			0					
	予算現額(B)		千円	15,226			9,818			—			—			—					
	執行率(A／B)		%	95.9%			88.1%			—			—			—					
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	2.32	0.00	0.00	2.65	0.00	0.40	2.65	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	20,880			25,440			25,440			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	0			1,200			0			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	20,880			26,640			25,440			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	35,475			35,285			33,815			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	環境審議会運営	1	4	1	6	2	237	0	0	0	0	237	・目的妥当性 ・有効性 ・効率性 ・公平性
		ア	開催数				回	4	2				
		イ											
		ウ											
2	環境啓発事業	1	4	1	6	3	4,025	0	0	0	1,382	2,643	目的妥当性 有効性
		ア	環境学習リーダー等派遣回数				回	44	40				
		イ	食器貸出枚数				枚	9,350	9,840				
		ウ	環境フェア来場者数				人	4,000	2,000				
3	生物多様性推進事業	1	4	1	6	7	1,202	0	0	0	600	602	有効性
		ア	外来生物防除依頼件数				件	43	46				
		イ	東京いさもの調査団イベント発信回数				回	-	7				
		ウ	生物多様性地域戦略策定進捗率				%	-	0				
4	第3次環境基本計画等策定事業	1	4	1	6	9	3,181	0	0	0	819	2,362	
		ア	計画書配布数				冊	-	118				
		イ	計画書概要版配布数				冊	-	117				
		ウ	パブリックコメント回答数				件	-	14				
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	01 資源循環の推進	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	ごみ対策課
施策名	20 持続可能な資源循環の実現	係名	計画推進係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)

市民・事業者・市がそれぞれの役割に基づき、第2次一般廃棄物処理基本計画に掲げた協働による様々なごみ減量や分別・リサイクル等に取り組み、資源化率向上を目指します。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
資源化率	%	37.6	38.2				42.4

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)

基本事業の成果 目標の達成状況	成果指標は令和5年度基準値37.6%と比較して、実績値は38.2%であり、基準値は上回りましたが、第2次一般廃棄物処理基本計画の令和7年度目標値41.7%を達成できませんでした。なお、計画に掲げた施策の取組の執行率が約87.5%であり、基本事業の目的である市民・事業者・市がそれぞれの役割を計画に掲げた協働によるごみ減量や分別・リサイクル等に取り組み、資源循環は進んでいます。
成果のあった 主な事務事業	【ごみ処理基本計画推進事業】ごみ市民委員会の答申に基づき策定した計画に掲げた施策について、持続可能な資源循環の実現に向け、市民・事業者・市の取組を進めました。
課題のあった 主な事務事業	【資源再生利用補助金】長年にわたり活動している団体も多く地域に広く浸透している事業である一方、子ども会等の解散や回収業者の廃業により補助金申請団体が微減傾向です。引き続き、制度の利用を呼びかけていく必要があります。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)

【ごみ処理基本計画推進事業】計画に記載されている数値目標や施策の取組について進捗等状況を確認し、ごみ市民委員会に報告するとともにご意見をいただき、必要に応じて施策の見直しを行うことで数値目標の達成を目指します。
【資源再生利用補助金】団体を支援することで、ごみの減量や分別・リサイクルを推進することができるため、今後も実施していきます。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度 実績			R7年度 実績			R8年度 計画			R9年度 計画			R10年度 計画			R11年度 計画		
① 事業費	財源 内訳	国庫支出金	千円	0			35,961			0			0			0			0		
		都支出金	千円	0			0			0			0			0					
		地方債	千円	0			0			0			0			0					
		その他	千円	3,381			3,839			3,415			0			0					
		一般財源	千円	70,969			106,309			80,749			0			0					
	事業費計(A)		千円	74,350			146,109			84,164			0			0					
	予算現額(B)		千円	84,897			178,682			—			—			—					
	執行率(A／B)		%	87.6%			81.8%			—			—			—					
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	2.83	0.00	0.00	2.15	0.00	0.00	2.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	正規職員分		千円	25,470			20,640			20,640			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	0			0			0			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	25,470			20,640			20,640			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	99,820			166,749			104,804			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	ごみ処理基本計画推進事業	1	4	2	2	1	6,856	0	0	0	0	6,856	・目的妥当性 ・有効性 ・効率性 ・公平性
		ア	ごみ市民委員会の開催				回	5	2				
		イ	年間総量				t	46,464	46,364				
		ウ	総資源化量				t	18,009	17,690				
2	資源再生利用補助金	1	4	2	2	7	18,876	0	0	0	0	18,876	有効性
		ア	補助金申請団体数				団体	164	155				
		イ	集団回収量				t	1,944	1,777				
		ウ	ごみ総量に占める集団回収量の割合				%	4.2	3.8				
3	燃やせるごみ専用袋全戸配布事業	1	4	2	2	14	69,521	35,961	0	0	0	33,560	
		ア	郵送数				通		122,996				
		イ											
		ウ											
4	し尿収集事業	1	4	2	3	1	35,672	0	0	0	3,839	31,833	
		ア	し尿くみ取り世帯数				世帯	52	48				
		イ	し尿くみ取り件数				回	234	185				
		ウ	し尿等投入実績(仮設トイレ等を含む)				KL	260	289				
5	公衆便所管理運営	1	4	2	3	2	15,184	0	0	0	0	15,184	
		ア	年間清掃日数				日	365	365				
		イ	年間利用可能日数				日	365	365				
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	02 家庭ごみ減量の促進	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	ごみ対策課
施策名	20 持続可能な資源循環の実現	係名	家庭ごみ減量推進係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)
ごみの分別目的や方法を周知し、安定した収集体制を維持します。また、排出量の推移や処理の実態を市民へ周知するとともに、家庭における2R+Rの促進により、家庭ごみの減量につなげ、環境負荷低減の向上を目指します。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
市民一人一日当たり家庭系ごみ排出量	g	514	501				484

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)	
基本事業の成果目標の達成状況	成果指標は令和5年度基準値514g/人・日と比較して、実績値は501g/人・日となっており、基準値を下回り、かつ、第2次一般廃棄物処理基本計画の令和7年度目標値505g/人・日も達成しました。家庭ごみの環境負荷低減に向けては、プラスチックや小型充電式電池の分別徹底による安全な収集体制の維持や、生ごみの水切り等の啓発活動を継続。特に生ごみに関しては、分別・資源化事業およびグループ制モデル事業の実施により、さらなる減量と市民への意識啓発が進んだことで、効果的な排出抑制につながりました。
成果のあった主な事務事業	【家庭ごみ減量事業】家庭から出る廃食用油の拠点回収を開始し、持続可能な航空燃料SAFへの再資源化を進めたことで、資源循環と資源の有効活用につながりました。 【生ごみ分別・資源化事業】大山自治会およびグループ制モデル事業に参加する市民グループとの協働により、家庭から出る生ごみの分別回収・たい肥化を実施し、生ごみの減量と市民に対する意識啓発につながりました。
課題のあった主な事務事業	【粗大ごみ収集事業】最低料金の改定等に伴う排出機会の増加により、受付件数が前年比を上回りました。その影響で、受付から収集までの期間が通常時で7～10日、繁忙期には最長で2～3週間を要する事態となり、迅速な回収体制の維持に課題を残しました。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)
【家庭ごみ収集事業】引き続き、市民への丁寧な分別啓発を行うとともに、収集事業者との緊密な連携により安定的かつ安全な収集体制を堅持します。
【粗大ごみ収集事業】引き続き、インターネット受付や電子決済の利用に関する啓発を行い、迅速な収集サービスの提供と市民利便性の向上を図ります。
【家庭ごみ減量事業】生ごみ、プラスチックや航空燃料SAFへの再資源化を重点的に推進し、市民一人ひとりが「2R+R」に配慮した具体的な行動を実践できるよう、市民へ提案を行い、主体的な取組を促します。
【生ごみ分別・資源化事業】大山自治会との協働により、生ごみのさらなる減量を促進します。なお、グループ制モデル事業については協力世帯との意見交換等を行うとともに、近隣自治体の事例を踏まえ、今後の生ごみ分別・資源化の方向性について、費用対効果等を踏まえ市の考え方をまとめていきます。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度 実績			R7年度 実績			R8年度 計画			R9年度 計画			R10年度 計画			R11年度 計画		
① 事業費	財源内 訳	国庫支出金	千円	0			0			0			0			0			0		
		都支出金	千円	1,822			197			1,873			0			0			0		
		地方債	千円	0			0			0			0			0			0		
		その他	千円	339,998			288,033			361,595			0			0			0		
		一般財源	千円	1,241,186			1,276,737			1,260,022			0			0			0		
	事業費計(A)		千円	1,583,006			1,564,967			1,623,490			0			0			0		
	予算現額(B)		千円	1,596,350			1,605,913			—			—			—			—		
	執行率(A／B)		%	99.2%			97.5%			—			—			—			—		
② 人 件 費	職員数(正規 月給 時給)		人	6.70	3.00	0.00	8.55	3.00	0.00	8.55	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	60,300			82,080			82,080			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	12,600			15,300			15,300			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	72,900			97,380			97,380			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	1,655,906			1,662,347			1,720,870			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	家庭ごみ収集事業	1	4	2	2	3	1,473,335	0	197	0	269,061	1,204,077	・目的妥当性 ・有効性 ・効率性 ・公平性
		ア	家庭ごみ収集量				t	32,632	32,282				
		イ	不法投棄処理件数(直営)				件	248	140				
		ウ											
2	粗大ごみ収集事業	1	4	2	2	4	75,974	0	0	0	18,972	57,002	有効性
		ア	粗大ごみ収集件数				件	21,677	23,822				
		イ	粗大ごみ収集量				t	909	843				
		ウ											
3	家庭ごみ減量事業	1	4	2	2	5	2,954	0	0	0	0	2,954	
		ア	地域説明会等参加数				人	535	152				
		イ	リサイクルセンター・グリーンセンターの見学者数				人	5,857	8,222				
		ウ	生ごみ処理機等補助対象件数				件	99	93				
4	生ごみ分別・資源化事業	1	4	2	2	6	12,704	0	0	0	0	12,704	
		ア	生ごみ収集量				kg	21,410	21,780				
		イ	事業地区パトロール回数				回	24	24				
		ウ	組成分析での生ごみ率				%	31.2	32				
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	03 事業系ごみ減量の促進	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	ごみ対策課
施策名	20 持続可能な資源循環の実現	係名	事業系ごみ減量推進係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)
食品ロス削減に向けた取組や排出事業者への啓発、一般廃棄物収集運搬業許可業者の指導・監督などを通じ、事業者が主体的にごみの減量、分別、資源化に取り組んでいる状態を目指します。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
事業系ごみ排出量	t	11,376	11,894				10,445

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)	
基本事業の成果目標の達成状況	成果指標は令和5年度基準値11,376tと比較して、実績値は11,894tであり、基準値を上回り、また、第2次一般廃棄物処理基本計画の令和7年度目標値11,065tも達成できませんでした。なお、基本事業の目的である食品ロス削減に向けた取組や排出事業者への啓発、一般廃棄物収集運搬業許可業者の指導・監督などを通じて、事業系ごみの減量と、適正処理が行われる事業者は増加しています。
成果のあった主な事務事業	【事業系ごみ減量事業】食品ロス削減に向けた取組として、食べきり及びてまえどりポップによる各キャンペーンにより意識啓発を行ったほか、フードシェアリングサービス「おたすけタベスケ立川」の更なる充実を図るため、店舗に対する登録の啓発のを強化し、6店舗増につなげました。また、主に事業用大規模建築物を中心に資源混入等の課題解決に向け、訪問による指導・助言を13事業所に対して実施しました。
課題のあった主な事務事業	【事業系ごみ減量事業】令和7年度の実績値において、基準値である令和5年度実績及び第2次一般廃棄物処理基本計画の令和7年度目標値を達成できませんでした。また、平成27年に始まった民間積替施設の事業規模が縮小し、市処理施設への搬入が増加に転じています。指導・啓発による事業系ごみ排出量の抑制や食品リサイクル施設への誘導、その他市処理施設の延命化策を検討する必要があります。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)
【事業系ごみ減量事業】燃やせるごみの組成分析結果により、事業系ごみについても紙資源やプラスチックが一定割合で混入していることがわかっています。ごみを発生させない、繰り返し使う、また再利用を推進するため、引き続き搬入物検査や事業所訪問による指導・助言を実施するとともに、ごみ処理優良事業所認定制度の拡充に取り組みます。また、食べきり及びてまえどりポップによる食品ロス削減の各キャンペーンの継続と、フードシェアリングサービス「おたすけタベスケ立川」の充実を図り、更に食品ロス削減の協力を求めています。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度 実績			R7年度 実績			R8年度 計画			R9年度 計画			R10年度 計画			R11年度 計画		
① 事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0			0			0			0			0			0		
		都支出金	千円	251			222			239			0			0			0		
		地方債	千円	0			0			0			0			0			0		
		その他	千円	4,567			4,975			4,859			0			0			0		
		一般財源	千円	524			371			650			0			0			0		
	事業費計(A)		千円	5,342			5,568			5,748			0			0			0		
	予算現額(B)		千円	5,532			5,608			—			—			—			—		
	執行率(A／B)		%	96.6%			99.3%			—			—			—			—		
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	3.10	1.00	0.00	4.10	0.00	0.00	4.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員分		千円	27,900			39,360			39,360			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	4,200			0			0			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	32,100			39,360			39,360			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	37,442			44,928			45,108			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	事業系ごみ減量事業	1	4	2	2	8	5,568	0	222	0	4,975	371	有効性
		ア	大規模建築物等訪問調査				件	4	13				
		イ	フードシェアリングサービス登録店舗数				店	14	20				
		ウ											
2													
		ア											
		イ											
		ウ											
3													
		ア											
		イ											
		ウ											
4													
		ア											
		イ											
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	04	資源と燃やせないごみの安定した適正処理	所属部	環境資源循環部
政策名	05	環境	所属課	ごみ対策課
施策名	20	持続可能な資源循環の実現	係名	リサイクルセンター係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)
市民・事業者とともに資源と燃やせないごみの安定した適正処理を推進します。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
施設稼働率(総合リサイクルセンター)	%	100	100				100

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)	
基本事業の成果目標の達成状況	成果指標は令和5年度基準値100%を維持し、第2次一般廃棄物処理基本計画の令和7年度目標値100%も達成しました。また、基本事業の目的である市民・事業者・市がそれぞれの役割に基づき、資源と燃やせないごみの安定した適正処理を行うことができました。
成果のあった主な事務事業	【総合リサイクルセンター管理運営】せん定枝処理施設排出コンベア更新工事や破砕機ベアリング交換修繕等、施設の経年変化部分の補修を行うとともに、プラスチック一括回収に伴う詰まり等の不具合対策を行い、処理の安定化を実現しました。また、令和7年度は令和9年度以降に予定している中規模改修工事の設計委託を進めました。さらに、持込分のごみ処理手数料の支払方法を拡充するため、対面キャッシュレス決済の導入をしたことで市民サービスの向上につながりました。
課題のあった主な事務事業	【総合リサイクルセンター管理運営】令和9年度から建物の中規模改修工事が開始されるが、工事対象外となった老朽化した機器等が残されており、今後も計画的な施設の維持管理や改修等により安定的な施設運営の確保が必要です。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)
【総合リサイクルセンター管理運営】老朽化した施設の安定的な維持管理に努め、円滑な管理運営を行います。令和9年度から建物の中規模改修工事を開始することにより、処理施設の稼働日数を確保するとともに、市民への影響が生じないように運営します。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度 実績			R7年度 実績			R8年度 計画			R9年度 計画			R10年度 計画			R11年度 計画		
① 事業費	財源 内訳	国庫支出金	千円	0			0			0			0			0			0		
		都支出金	千円	10,000			0			0			0			0			0		
		地方債	千円	0			0			0			0			0			0		
		その他	千円	215,980			221,466			167,741			0			0			0		
		一般財源	千円	500,905			503,781			628,676			0			0			0		
	事業費計(A)		千円	726,885			725,247			796,417			0			0			0		
	予算現額(B)		千円	771,166			762,849			—			—			—			—		
	執行率(A／B)		%	94.3%			95.1%			—			—			—			—		
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	4.20	0.00	0.00	4.20	0.00	0.00	4.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	37,800			40,320			40,320			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	0			0			0			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	37,800			40,320			40,320			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	764,685			765,567			836,737			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	総合リサイクルセンター管理運営	1	4	2	2	2	725,247	0	0	0	221,466	503,781	有効性
		ア	施設の稼働日数				日	257	258				
		イ											
		ウ											
2													
		ア											
		イ											
		ウ											
3													
		ア											
		イ											
		ウ											
4													
		ア											
		イ											
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	01 燃やせるごみの安定した適正処理と啓発の推進	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	クリーンセンター
施策名	21 廃棄物の適正処理の促進	係名	管理係、工事担当係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)
安全で安定した施設の稼働により、燃やせるごみを適正に処理します。また、市民・団体・事業者と連携・協力し、循環型社会の実現に向け、環境学習やごみ減量の啓発を推進します。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
施設稼働率(クリーンセンター)	%	100	99.7				100.0

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)	
基本事業の成果目標の達成状況	クリーンセンターの施設稼働率は、タービン発電機の故障警報確認による計画外停止があったため、99.7%となっていますが、ごみ受入れに影響は出ていません。 特に「クリーンセンター運営事業」が、本基本事業の成果向上に大きく寄与しました。
成果のあった主な事務事業	【クリーンセンター運営事業】焼却炉運転による発電電力のうち余剰電力を売電するとともに、本庁舎・総合リサイクルセンターに供給する電力の地産地消につながりました。また、環境学習イベントを令和7年11月に開催し、環境学習やごみ減量の啓発を推進しました。 【旧清掃工場解体事業】解体工事を適切な施工管理により安全かつ着実に進めることができました。また、令和8年1月に報告会を行い、周辺住民からの理解、工事工程及び解体工法等の共有につながりました。
課題のあった主な事務事業	【クリーンセンター運営事業】【ごみ埋立・エコセメント化事業】循環型社会の実現に向けて燃やせるごみ減量の更なる推進を行う必要があります。 【旧清掃工場周辺環境整備対策事業】旧清掃工場周辺の管理地の自治会所有物の取扱い等について自治会との更なる調整が必要となりました。 【旧清掃工場解体事業】煙突外筒解体工事に伴い粉じん及び鉄粉の飛散が発生しました。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)
【クリーンセンター運営事業】単なる一般廃棄物処理施設というだけでなく、施設やたちむにいひろばを一体的に活用し、環境学習やごみ減量の啓発等を実施し、資源循環型社会を目指すうえでの拠点となるよう必要な情報発信等に取り組みます。 【ごみ埋立・エコセメント化事業】引き続き、焼却残さのエコセメント化を行うとともに、燃やせるごみの減量を推進し、焼却残さの搬出量を減量します。 【旧清掃工場周辺環境整備対策事業】旧清掃工場周辺の管理地について普通財産化に向け、引き続き自治会との調整を行います。 【旧清掃工場解体事業】最終年度となる旧清掃工場の解体を安全かつ着実に進め、解体工事を完了させます。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度 実績			R7年度 実績			R8年度 計画			R9年度 計画			R10年度 計画			R11年度 計画		
① 事業費	財源 内訳	国庫支出金	千円	198,523			267,407			532,834			0			0			0		
		都支出金	千円	0			0			0			0			0			0		
		地方債	千円	0			0			0			0			0			0		
		その他	千円	1,193,808			995,776			1,359,817			0			0			0		
		一般財源	千円	476,109			532,410			631,169			0			0			0		
	事業費計(A)		千円	1,868,440			1,795,593			2,523,820			0			0			0		
	予算現額(B)		千円	1,876,465			1,816,364			—			—			—			—		
	執行率(A／B)		%	99.6%			98.9%			—			—			—			—		
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	5.80	0.00	0.00	8.00	0.00	0.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	52,200			76,800			76,800			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	0			0			0			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	52,200			76,800			76,800			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	1,920,640			1,872,393			2,600,620			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	クリーンセンター運営事業	1	4	2	2	9	527,364	0	0	0	480,776	46,588	有効性
		ア	燃やせるごみの焼却処理量				t	31,510	31,567				
		イ	発電量				MWh	12,742	13,083				
		ウ	事業報告説明会の開催				回	1	1				
2	ごみ埋立・エコセメント化事業	1	4	2	2	10	480,880	0	0	0	0	480,880	有効性
		ア	焼却残さの年間搬出量				t	3,128	3,021				
		イ	不燃残さの年間搬出量				t	0	0				
		ウ											
3	旧清掃工場周辺環境整備対策事業	1	4	2	2	11	375	0	0	0	0	375	目的妥当性
		ア	委託件数(樹木管理及び除草)				件	1	1				
		イ											
		ウ											
4	旧清掃工場解体事業	1	4	2	2	12	786,974	267,407	0	0	515,000	4,567	目的妥当性
		ア	委託件数(監理)				件	1	1				
		イ	工事件数(解体工事)				件	1	1				
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	01 安定した下水道経営	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	下水道管理課
施策名	22 下水道の管理	係名	庶務係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)

安定した下水道サービスを提供するため、下水道事業の経営基盤の強化に取り組みます。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
経費回収率	%	119.3	105.5				100以上

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)

基本事業の成果 目標の達成状況	令和7年度の成果指標は105.5%であり、汚水処理に要する費用を下水道使用料で賄える目安である目標値の100%以上となっています。
成果のあった 主な事務事業	【下水道使用料収納等事務】公営企業会計による適正な財務処理を行うとともに、令和6年度に改定した下水道事業経営戦略に基づく計画的、安定的な下水道経営を進めつつ、下水道使用料の適正な徴収を行うことができました。令和8年4月の流域下水道維持管理負担金の単価改定により、経費回収率が100%を下回る見込みであることから、令和7年12月、下水道使用料改定を前提とした下水道条例の一部改正を行いました(令和9年1月施行)。
課題のあった 主な事務事業	

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)

【下水道使用料収納等事務】今後も、公営企業会計による適正な財務処理を行うとともに、令和6年度に改定した下水道事業経営戦略に基づく計画的、安定的な下水道経営を進め、安定した財源確保のため引き続き公平・公正な使用料の徴収に努めます。

【流域下水道処理費負担金】今後も流域下水道の水再生センターの維持管理等について所要額を負担します。東京都に対しては、効率的な事業運営による経費削減を求めています。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度実績			R7年度実績			R8年度計画			R9年度計画			R10年度計画			R11年度計画		
① 事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0			0			0			0			0			0		
		都支出金	千円	0			0			0			0			0					
		地方債	千円	0			0			0			0			0					
		その他	千円	1,737			9,298			12,688			0			0					
		一般財源	千円	1,477,746			1,280,446			1,991,960			0			0					
	事業費計(A)		千円	1,479,483			1,289,744			2,004,648			0			0					
	予算現額(B)		千円	1,563,781			1,371,422			—			—			—					
	執行率(A／B)		%	94.6%			94.0%			—			—			—					
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	2.28	0.80	0.00	2.28	0.80	0.00	2.28	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	20,520			21,888			21,888			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	3,360			4,080			4,080			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	23,880			25,968			25,968			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	1,503,363			1,315,712			2,030,616			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	下水道使用料収納等事務	4	1	1	3	-	285,717	0	0	0	9,298	276,419	・目的妥当性 ・有効性 ・効率性 ・公平性
		ア 収入率				%	90.0	90.3					
		イ 下水道使用料(税抜)				千円	2,306,350	2,310,368					
		ウ											
2	流域下水道処理費負担金	4	1	1	4	-	1,004,027	0	0	0	0	1,004,027	・目的妥当性 ・有効性 ・効率性 ・公平性
		ア 維持管理負担金(北多摩1号処理区)				千円	32,446	27,252					
		イ 維持管理負担金(北多摩2号処理区)				千円	988,585	815,684					
		ウ 維持管理負担金(多摩川上流処理区)				千円	174,401	161,091					
3													
		ア											
		イ											
		ウ											
4													
		ア											
		イ											
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	02 下水道施設の機能維持	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	下水道管理課
施策名	22 下水道の管理	係名	維持係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)

市民の安全で快適な生活環境を維持するため、下水道管渠等を計画的に調査し、清掃や補修を行うことで下水道の機能を維持します。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
計画に基づく下水道管調査実施率(5年間の実施率)	%	—	22.8				100

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)

基本事業の成果目標の達成状況	成果指標の令和7年度実績値は22.8%であり、計画に基づく下水道管調査の実施について、令和11年度の目標値100%の達成に向けて順調に推移しており、計画的、効果的な維持管理につながりました。
成果のあった主な事務事業	【下水道管路維持管理】下水道ストックマネジメント計画に基づき下水道施設の点検調査を実施したことで、今後の修繕・改築計画の策定につながったことや、計画的な清掃や補修工事の実施、緊急対応などに取り組むことで、下水道施設の適切な維持管理につながりました。また、市民サービスや業務の利便性の向上のため統合型GISの移行に伴う下水道台帳システムの再構築に取り組みました。
課題のあった主な事務事業	【下水道管路維持管理】道路陥没の原因となる老朽化した下水道施設の中では、比較的浅い位置にあり、路上の交通状況の影響を受けやすい、下水道本管と公共柵を結ぶ取付管の不良によるものが多くを占めており、特に平成5年頃まで使用され、塩ビ管より外部からの衝撃に弱い陶管の取付管のひび割れや破損によるものが多いことから、陶管の取付管の対応について、効率的・効果的な対応が課題となっています。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)

【下水道管路維持管理】下水道ストックマネジメント計画に基づいた下水道施設の点検調査を実施し、修繕・改築計画の策定につなげることや計画的な清掃や補修工事の実施、緊急対応などに取り組めます。また、策定した修繕・改築計画を踏まえ、修繕で取り組むべきものについて対策に取り組めます。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度 実績			R7年度 実績			R8年度 計画			R9年度 計画			R10年度 計画			R11年度 計画		
① 事業費	財源 内訳	国庫支出金	千円	23,453			27,351			9,920			0			0			0		
		都支出金	千円	1,165			1,117			496			0			0			0		
		地方債	千円	17,400			21,100			52,000			0			0			0		
		その他	千円	395			16,944			560			0			0			0		
		一般財源	千円	444,461			416,285			663,665			0			0			0		
	事業費計(A)		千円	486,874			482,797			726,641			0			0			0		
	予算現額(B)		千円	528,353			619,804			—			—			—			—		
	執行率(A／B)		%	92.1%			77.9%			—			—			—			—		
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	3.60	2.00	1.00	5.20	3.00	0.00	5.20	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	32,400			49,920			49,920			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	10,400			15,300			15,300			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	42,800			65,220			65,220			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	529,674			548,017			791,861			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	下水道管路維持管理	4	1	1	1	-	482,797	27,351	1,117	21,100	16,944	416,285	効率性
		ア	下水道管調査延長				m	—	33,353				
		イ	管渠等清掃延長				m	7,881	5,535				
		ウ											
2													
		ア											
		イ											
		ウ											
3													
		ア											
		イ											
		ウ											
4													
		ア											
		イ											
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	03	雨水流出抑制の促進	所属部	環境資源循環部
政策名	05	環境	所属課	下水道管理課
施策名	22	下水道の管理	係名	排水設備係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)
地下水のかん養を促し、健全な水環境の保全と雨水の流出抑制を図るため、雨水浸透施設の設置を促進します。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
雨水浸透柵設置件数(5年間の平均)	件	635	677				700

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)	
基本事業の成果目標の達成状況	成果指標は基準値と比較すると、令和11年度目標値には及ばなかったものの、令和7年度実績は677件と42件の増となり、雨水流出抑制の促進につながりました。
成果のあった主な事務事業	【下水道施設指導事務】排水設備工事を実施する指定工事店に対し、雨水浸透施設の重要性を説明し、設置要請した結果、雨水浸透施設の設置につながりました。
課題のあった主な事務事業	【雨水浸透施設助成事業】少数の指定工事店のみが実施する事業となっているため、指定工事店の参加拡大が課題となっています。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)
【雨水浸透施設助成事業】事業内容を広く市民へ発信するため、イベントを通しての啓発活動は引き続き行うとともに、指定工事店に対し参加を促す啓発活動については、常時窓口にてパンフレット等を配布し、事業認知度の向上を図ることで設置件数の増加につなげます。
【下水道施設指導事務】引き続き雨水浸透施設の重要性を排水設備工事を実施する指定工事店へ説明し、その必要性をしっかりと根付かせることで雨水浸透施設の設置を促進します。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度 実績			R7年度 実績			R8年度 計画			R9年度 計画			R10年度 計画			R11年度 計画		
① 事業費	財源内 訳	国庫支出金	千円	1,472			0			1,300			0			0			0		
		都支出金	千円	2,070			0			1,800			0			0			0		
		地方債	千円	0			0			8,698			0			0			0		
		その他	千円	0			0			0			0			0			0		
		一般財源	千円	6,141			5,139			8,702			0			0			0		
	事業費計(A)		千円	9,683			5,139			20,500			0			0			0		
	予算現額(B)		千円	20,429			19,459			—			—			—			—		
	執行率(A／B)		%	47.4%			26.4%			—			—			—			—		
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	3.35	0.00	0.00	3.35	0.00	0.00	3.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	30,150			32,160			32,160			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	0			0			0			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	30,150			32,160			32,160			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	39,833			37,299			52,660			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	水質規制事務	4	1	1	3	-	4,296	0	0	0	0	4,296	・目的妥当性 ・有効性 ・効率性 ・公平性
		ア	特定事業場、除外施設の水質検査数				回	218	224				
		イ	改善指導・現場確認等の実施回数				回	461	480				
		ウ											
2	下水道施設指導事務	4	1	1	3・4	-	843	0	0	0	0	843	
		ア	排水設備新設等計画届出件数				件	745	690				
		イ	開発指導件数				件	37	47				
		ウ	公費による公桝設置件数				件	1	1				
3	雨水浸透施設助成事業	4	1	1	3	-	0	0	0	0	0	0	有効性
		ア	設置件数				件	23	0				
		イ	浸透施設設置数				基	69	0				
		ウ	啓発活動数				件	400	705				
4													
		ア											
		イ											
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	01	公共用水域の水質向上	所属部	環境資源循環部
政策名	05	環境	所属課	下水道整備課
施策名	23	下水道の整備	係名	計画係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)
下水道の汚水整備を行い、住宅や事務所等を水洗化することで、市民の快適な生活環境を確保するとともに公共用水域の水質保全を図ります。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
汚水整備(2級 25 号線)延長(m) の進捗率	%	41.2	53.3				55.0

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)	
基本事業の成果 目標の達成状況	市道2級25号線整備に先行する汚水整備については、事業の進捗がありませんでした。今後は、道路用地買収の進捗に合わせて事業を執行していきます。
成果のあった 主な事務事業	【下水道管整備事業(汚水処理)】事業計画変更を行い、下水道整備の方針を示しました。また、立川都市計画道路3・4・25号線整備の進捗に合わせて実施設計を行いました。これらの取り組みにより汚水整備に向けて準備が進み、公共用水域の水質向上に寄与しました。
課題のあった 主な事務事業	【下水道管整備事業(汚水処理)】市道2級25号線整備に先行する汚水整備は、道路用地買収の進捗に合わせて事業を執行しています。令和7年度は、事業執行可能な箇所がありませんでした。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)
【下水道管整備事業(汚水処理)】当初計画された汚水整備はおおむね完了しています。今後、市道2級25号線、立川都市計画道路3・3・30号線、3・2・10号線、立鉄中付第1号線、3・4・15号線、3・4・21号線及び3・2・38号線の進捗を見据えて、枝線など公共下水道整備の事業化に向けて検討します。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度 実績			R7年度 実績			R8年度 計画			R9年度 計画			R10年度 計画			R11年度 計画		
① 事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0			0			0			0			0			0		
		都支出金	千円	0			0			0			0			0			0		
		地方債	千円	27,700			5,850			198,400			0			0			0		
		その他	千円	0			0			3,603			0			0			0		
		一般財源	千円	36			8,162			1,736			0			0			0		
	事業費計(A)		千円	27,736			14,012			203,739			0			0			0		
	予算現額(B)		千円	27,744			26,140			—			—			—			—		
	執行率(A／B)		%	100.0%			53.6%			—			—			—			—		
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	0.30	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	2,700			3,840			3,840			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	0			0			0			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	2,700			3,840			3,840			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	30,436			17,852			207,579			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	下水道管整備事業(汚水処理)	4	1	1	3	-	14,012	0	0	5,850	0	8,162	効率性
		ア 下水道管整備面積(累計)				ha	2175	2,175					
		イ											
		ウ											
2													
		ア											
		イ											
		ウ											
3													
		ア											
		イ											
		ウ											
4													
		ア											
		イ											
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	02 雨水対策	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	下水道整備課
施策名	23 下水道の整備	係名	管路整備係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)
浸水の防除により市民の快適な生活環境を確保します。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
残堀川流域の雨水管整備(2級 21号線、西1号線)延長(m)の進捗率	%	16.4	50.9				86.0

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)	
基本事業の成果目標の達成状況	市道2級21号線の雨水枝線埋設工事及び市道西1号線の実施設計を行い、残堀川流域の雨水管整備は予定通りに進捗しました。また、市道西1号線の雨水枝線埋設工事の準備ができました。
成果のあった主な事務事業	【下水道管整備事業(流域処理区・多摩川上流処理区)(雨水処理)】残堀川流域では、市道2級21号線の雨水枝線埋設工事及び市道西1号線の実施設計を行いました。空堀川流域では、立川市・東大和市・武蔵村山市の構成3市にまたがる空堀川上流雨水幹線の整備に向け、都(流域下水道本部)は東大和市域の整備工事を進め、構成市として事業費を負担しました【流域下水道建設負担金に計上】。
課題のあった主な事務事業	【下水道管整備事業(流域処理区・多摩川上流処理区)(雨水処理)】残堀川流域では、幅員が狭い道路や既存埋設管が輻輳している道路が多いため、雨水管整備の課題となっています。空堀川流域では、空堀川上流雨水幹線の整備に長い時間がかかるため、効果発現までの期間に課題があります。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)
【下水道管整備事業(北多摩1号・北多摩2号処理区)(雨水処理)】【下水道管整備事業(流域処理区・多摩川上流処理区)(雨水処理)】雨水管理総合計画に基づく浸水対策について準備を進めます。
【下水道管整備事業(流域処理区・多摩川上流処理区)(雨水処理)】分流域では、空堀川流域で、都と3市(立川市・東大和市・武蔵村山市)で空堀川上流雨水幹線の整備を進めます【流域下水道建設負担金に計上】。
【下水道管整備事業(北多摩1号・北多摩2号処理区)(雨水処理)】合流区域については、当初計画された下水道管の整備はおおむね完了しています。今後、立川都市計画道路3・3・30号線、3・2・10号線、立鉄中付第1号線、3・4・15号線、3・4・21号線及び3・2・38号線の進捗を見据えて、枝線など公共下水道整備の事業化に向けて検討します。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度 実績			R7年度 実績			R8年度 計画			R9年度 計画			R10年度 計画			R11年度 計画		
① 事業費	財源 内訳	国庫支出金	千円	82,988			42,800			11,558			0			0			0		
		都支出金	千円	43,873			29,533			5,779			0			0			0		
		地方債	千円	124,100			167,750			76,600			0			0			0		
		その他	千円	0			0			666			0			0			0		
		一般財源	千円	4,432			19,911			46,673			0			0			0		
	事業費計(A)		千円	255,393			259,994			141,276			0			0			0		
	予算現額(B)		千円	255,821			288,470			—			—			—			—		
	執行率(A／B)		%	99.8%			90.1%			—			—			—			—		
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	3.20	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	28,800			28,800			28,800			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	0			0			0			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	28,800			28,800			28,800			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	284,193			288,794			170,076			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	下水道管整備事業(北多摩1号・北多摩2号処理区)(雨水処理)	4	1	1	3	-	12,055	0	0	5,850	0	6,205	・目的妥当性 ・有効性 ・効率性 ・公平性
		ア	下水道管整備面積(累計)				ha	1699	1,699				
		イ											
		ウ											
2	下水道管整備事業(流域処理区・多摩川上流処理区)(雨水処理)	4	1	1	3	-	247,939	42,800	29,533	161,900	0	13,706	効率性
		ア	下水道管整備面積(累計)				ha	174	177				
		イ											
		ウ											
3													
		ア											
		イ											
		ウ											
4													
		ア											
		イ											
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	03 適正な施設管理	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	下水道整備課
施策名	23 下水道の整備	係名	管路施設係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)
ライフサイクルコストの最小化や事業費の平準化を考慮した管路施設の長寿命化を計画的に行い、老朽化に伴う被害を未然に防止し、流下機能を確保します。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
緑川幹線の改築(更新)延長(m) の進捗率	%	21.1	21.1				54.0

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)	
基本事業の成果 目標の達成状況	緑川幹線の令和8、9年度に改築(更新)工事を予定する区間について、施工方法の検討、関連する企業や部署等と事前協議を行い、工事発注に向けた準備が整いました。緑川幹線は、市内の下水道施設の長寿命化を目的とした、下水道ストックマネジメント計画に基づいて改築工事を行っています。現状では、年次計画に基づいて順調に工事が進んでいることから、令和11年度の目標値は達成見込みです。
成果のあった 主な事務事業	【下水道長寿命化事業】下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化が進んでいる緑川幹線の改築工事及び水管橋区間の改築基本検討を行うとともに、特別重点調査の修繕・改築計画の策定に取り組みました。また、「下水道管路施設修繕・改築計画」に基づき、枝線基本設計を行いました。これらにより安定した下水道サービスの提供に寄与しました。 【下水道管渠等補修】不明水対策として、浸入水の多い管きょ及びマンホールの止水を行いました。
課題のあった 主な事務事業	【下水道管渠等補修】降雨量が少なかったことから浸入水の確認ができず、令和8年度の管きょ等補修工事は事業規模を縮小しました。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)
【下水道長寿命化事業】下水道ストックマネジメント計画に基づき、引き続き緑川幹線の改築工事とともに枝線改築工事を進めていきます。 【下水道管渠等補修】引き続き、管きょおよびマンホールの止水工事を行い、不明水対策を進めます。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度 実績			R7年度 実績			R8年度 計画			R9年度 計画			R10年度 計画			R11年度 計画		
① 事業費	財源 内訳	国庫支出金	千円	209,140			115,684			166,496			0			0			0		
		都支出金	千円	108,198			57,842			83,650			0			0			0		
		地方債	千円	300,800			88,200			547,745			0			0			0		
		その他	千円	0			0			0			0			0			0		
		一般財源	千円	80,942			146,783			74,125			0			0			0		
	事業費計(A)		千円	699,080			408,509			872,016			0			0			0		
	予算現額(B)		千円	736,973			440,397			—			—			—			—		
	執行率(A／B)		%	94.9%			92.8%			—			—			—			—		
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	3.20	0.00	0.00	6.75	0.00	0.00	6.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	28,800			64,800			64,800			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	0			0			0			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	28,800			64,800			64,800			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	727,880			473,309			936,816			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	下水道管渠等補修	4	1	1	1	-	125,066	0	0	0	0	125,066	効率性
		ア 補修済箇所数(管渠)				箇所	105	59					
		イ 補修済箇所数(マンホール)				基	0	36					
		ウ											
2	下水道長寿命化事業	4	1	1	2	-	283,443	115,684	57,842	88,200	0	21,717	
		ア 改築計画延長				km	1.3	2.7					
		イ											
		ウ											
3													
		ア											
		イ											
		ウ											
4													
		ア											
		イ											
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	01 計画的な施設管理と更新	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	下水道施設課
施策名	24 下水ポンプ場の運営	係名	施設係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)
下水を排水するためポンプ施設を適正に管理し、下水道ストックマネジメント計画に基づき、施設の健全度を調査し、調査結果に基づき補修、更新を進め、施設の安定稼働に努めます。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
ポンプ場施設稼働率	%	100	100				100

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)	
基本事業の成果目標の達成状況	下水道ストックマネジメント計画で健全度の低い設備の補修、更新工事を行っており、全てのポンプ場において基本事業の目的である施設の安定稼働につながり、成果指標のポンプ場施設稼働率100%を達成しました。
成果のあった主な事務事業	【下水道ポンプ場維持管理】下水道ストックマネジメント計画の調査結果に基づき、健全度の低い設備の補修、更新工事を行い、機器の故障を未然に防ぎ、機能回復により施設の安定稼働につながりました。
課題のあった主な事務事業	

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)
【下水道ポンプ場維持管理】引き続き、ポンプ場施設の維持管理については、下水道ストックマネジメント計画とポンプ場保全計画を基本に補修、更新などを実施し、施設の安定稼働に努めます。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度実績			R7年度実績			R8年度計画			R9年度計画			R10年度計画			R11年度計画		
① 事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0			0			0			0			0			0		
		都支出金	千円	0			0			0			0			0					
		地方債	千円	414,900			317,900			390,927			0			0					
		その他	千円	0			0			0			0			0					
		一般財源	千円	186,302			178,918			177,236			0			0					
	事業費計(A)		千円	601,202			496,818			568,163			0			0					
	予算現額(B)		千円	621,870			513,566			—			—			—					
	執行率(A／B)		%	96.7%			96.7%			—			—			—					
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	6.00	1.00	0.00	5.00	1.00	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	54,000			48,000			48,000			0			0					
	会計年度任用職員等		千円	4,200			5,100			0			0			0					
	人件費計(C)		千円	58,200			53,100			48,000			0			0					
③総事業費(A)＋(C)			千円	659,402			549,918			616,163			0			0					

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	下水道ポンプ場維持管理	4	1	1	2	-	496,818	0	0	317,900	0	178,918	・目的妥当性 ・有効性 ・効率性 ・公平性
		ア	維持補修工事件数				件	3	4				
		イ	建設改良工事件数				件	5	3				
		ウ											
2													
		ア											
		イ											
		ウ											
3													
		ア											
		イ											
		ウ											
4													
		ア											
		イ											
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	02 不明水対策としての一時貯留	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	下水道施設課
施策名	24 下水ポンプ場の運営	係名	業務係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)

不明水対策として旧錦町下水処理場で水処理に使用していた池を貯留池として転用し、下水を一時貯留し送水調整ができるよう取り組みます。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
錦町ポンプ場貯留池整備進捗率	%	0	100				100

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)

基本事業の成果 目標の達成状況	錦町ポンプ場において旧下水処理場の施設を貯留池として整備(改修)したことで、成果指標の錦町ポンプ場貯留池整備進捗率100%を達成しました。これにより導水と排水が調整可能となり、基本事業の成果到達に大きく寄与しました。
成果のあった 主な事務事業	【不明水対策(送水調整)】送水調整として、旧下水処理場の施設を貯留施設として転用するために貯留対応化工事(機械・電気設備)を進めたことにより貯留池として活用できるようになりました。
課題のあった 主な事務事業	【不明水対策(送水調整)】晴天時の不明水対策(送水調整)としての貯留池整備(改修)については可能な範囲で完了しましたが、近年の集中豪雨等に十分な効果があるか、検証できていません。また、貯留池を含めた施設の老朽化が課題となっています。

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)

【不明水対策(送水調整)】不明水対策として、旧下水処理場の施設を貯留施設として転用するために錦町ポンプ場の維持補修工事や建設改良工事が完了したことにより整備進捗状況100%となり目標を達成し、貯留池として活用できるようになりましたが、近年の集中豪雨等により施設能力を超え流入する雨水への対応が引き続き求められます。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度実績			R7年度実績			R8年度計画			R9年度計画			R10年度計画			R11年度計画		
① 事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	420			0			0			0			0			0		
		都支出金	千円	21			0			0			0			0			0		
		地方債	千円	0			565,500			0			0			0			0		
		その他	千円	0			6,296			0			0			0			0		
		一般財源	千円	289,219			276,115			294,208			0			0			0		
	事業費計(A)		千円	289,660			847,911			294,208			0			0			0		
	予算現額(B)		千円	308,856			859,809			—			—			—			—		
	執行率(A／B)		%	93.8%			98.6%			—			—			—			—		
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	3.00	0.00	2.00	3.00	0.00	1.00	2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員分		千円	27,000			28,800			19,200			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	4,000			3,000			5,100			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	31,000			31,800			24,300			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	320,660			879,711			318,508			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	不明水対策(送水調整)	4	1	1	2	-	847,911	0	0	565,500	6,296	276,115	有効性
		ア	建設改良工事件数				件	3	3				
		イ	雨水ポンプ放流/流入雨水				%	13.4	2.1				
		ウ											
2													
		ア											
		イ											
		ウ											
3													
		ア											
		イ											
		ウ											
4													
		ア											
		イ											
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

基本事業名	03 下水道事業の官民連携	所属部	環境資源循環部
政策名	05 環境	所属課	下水道施設課
施策名	24 下水ポンプ場の運営	係名	計画管理係

1. 基本事業の目的

目的(何、誰を、どのような状態にしたいのか)

下水道事業における課題(職員減少、施設の老朽化、財政支出の平準化など)があり、下水道事業を安定的に運営するために民間事業者と連携する必要があります。課題解決に向け、効果的な民間事業者との連携の検討を行い導入を目指します。

2. 基本事業の成果指標

成果指標(基本事業)	単位	基準値 (R5年度)	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	R11年度 目標値
下水道事業運営の包括的な官民連携の取組	取組	—	0				2 つ以上のポンプ場で官民連携の取組

3. 基本事業の評価

全体総括(①基本事業の成果目標の達成状況・②成果のあった主な事務事業・③課題のあった主な事務事業)

基本事業の成果目標の達成状況	令和7年度実績の成果指標は基準値からの変化はありませんが、持続的な下水道事業運営の効率的、効果的な実施に向けては、民間事業者へのアンケートやヒアリング調査などによる意向把握の結果、更なる調査などが必要であることが分かり、引き続き包括的官民連携の導入検討に向け取り組みます。
成果のあった主な事務事業	【包括的官民連携】下水道事業の安定的な運営手法として包括的官民連携の導入検討に向け、庁内検討委員会で検討するとともに、民間事業者の意向把握のために勉強会やアンケート調査、説明会などを実施しました。これにより検討課題の抽出や役割分担の整理につながりました。
課題のあった主な事務事業	

4. 今後の取組方針(案)

次年度の取組方針(改革・改善案等)

【包括的官民連携】包括的な官民連携の取組については、持続的な下水道事業運営の効率的、効果的な実施に向けて更なる調査、検討を行う必要があり、令和9年度以降に具体化する予定です。

5. 基本事業のコスト

5. 基本事業のコスト			単位	R6年度 実績			R7年度 実績			R8年度 計画			R9年度 計画			R10年度 計画			R11年度 計画		
① 事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0			15,000			0			0			0			0		
		都支出金	千円	0			0			0			0			0			0		
		地方債	千円	0			0			0			0			0			0		
		その他	千円	0			0			0			0			0			0		
		一般財源	千円	0			378			28,732			0			0			0		
	事業費計(A)		千円	0			15,378			28,732			0			0			0		
	予算現額(B)		千円				25,113			—			—			—			—		
	執行率(A／B)		%				61.2%			—			—			—			—		
② 人件費	職員数(正規 月給 時給)		人	2.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	正規職員分		千円	18,000			19,200			19,200			0			0			0		
	会計年度任用職員等		千円	0			0			0			0			0			0		
	人件費計(C)		千円	18,000			19,200			19,200			0			0			0		
③総事業費(A)＋(C)			千円	18,000			34,578			47,932			0			0			0		

6. 基本事業を構成する事務事業

事務事業名		予算科目					事業費(R7年度実績)						課題の有無
		会計	款	項	目	事業番号	(単位:千円)	国庫支出金	都支出金	地方債	その他	一般財源	
		活動指標				単位	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績	R10年度実績	R11年度実績	
1	包括的官民連携	4	1	1	2	-	15,378	15,000	0	0	0	378	・目的妥当性 ・有効性 ・効率性 ・公平性
		ア	包括的民間委託の実施				取組	0	0				
		イ											
		ウ											
2													
		ア											
		イ											
		ウ											
3													
		ア											
		イ											
		ウ											
4													
		ア											
		イ											
		ウ											
5													
		ア											
		イ											
		ウ											
6													
		ア											
		イ											
		ウ											
7													
		ア											
		イ											
		ウ											
8													
		ア											
		イ											
		ウ											

